

保温材接続テープ JTA  
施工要領書

2020年 12月 21日

因幡電機産業株式会社  
開発統括部

## 1. はじめにお読みください

本製品は冷媒用被覆銅管の接続部に使用する、保温材同士を高強度で接続する粘着テープです。それ以外の用途には使用しないでください。

### 【お願い】

- ・必ず使用環境温度（-10℃～60℃）の範囲内で使用してください。
- ・本製品は当社保温材により性能確認を実施したものです。
- ・本製品は必ず保温材のエンボス表面に直接巻き付けてください。接続箇所の保温材端部にスリットが入っていて保温材の補修処理が必要な場合は、先に JTA で接続処理を行った上から、ビニル粘着テープなどでスリット部の補修処理を行ってください。

## 2. 施工手順

- ①表面のごみやホコリを取り除いて、保温材同士をすき間ができないよう突き合わせてください。
- ②保温材の接続部がテープの中央になるように、巻き付けてください。
- ③10 mm以上テープが重なるように巻き付け、保温材のエンボス（凹凸）にテープが食い込むように手でしっかり押さえてなじませてください。  
なじませ方が不十分な状態ですと、接続強度が発揮できません。

保温材接続テープ JTA の必要長さの目安を下表に示します。

保温材接続テープ JTA 必要長さ目安 (mm)

銅管サイズ	6.35	9.52	12.70	15.88	19.05	22.22	25.40	28.58
保温材厚 8 mmの場合	85	95	—	—	—	—	—	—
保温材厚 10 mmの場合	98	108	120	130	140	150	160	170
保温材厚 20 mmの場合	160	170	180	190	205	210	220	230
銅管サイズ	31.75	34.92	38.10	41.28	44.45	50.80	53.98	/
保温材厚 10 mmの場合*	180	190	200	210	220	270	280	
保温材厚 20 mmの場合	240	250	265	275	280	305	315	

※銅管サイズ 50.80、53.98 の場合は保温材厚 15 mm とする。

注意) 表の数値は目安であって保温材の仕上がり外径のバラツキにより、若干異なる場合があります。  
使用の際は、現物合わせにてお願いいたします。

以上